



1 スタートした4月の授業風景



久しぶりに体を動かす「フィジカルフィットネス」



外国人教師による「英会話」の授業風景



「コンピュータ基礎ソフトウェア」の授業風景

入学した第一学年の学生達も授業の雰囲気慣れ、次代のIT技術者としての基礎知識を集中して学んでいます。

授業は朝8時40分にスタートし、1コマ100分で4コマあり、16時35分まで行われています。

『フィジカルフィットネス』では橋本朝陽（那珂高卒）さんは「久しぶりの運動で新鮮です」と嬉しそうに答えていました。

2 山ビンゴの入賞者紹介



優勝

準優勝

4月8日（火）、交流会の山ビンゴ大会の結果です。

優勝：絹張涼（銚田一高卒）さん、横田空良（勝田工高卒）さん、玉野泰成（下館工卒）さん、市村駿太（常磐大高卒）さん、中村太紀（多賀高卒）さん

準優勝：大鹿悠人（土浦三高卒）さん、橋本幸明（麻生高卒）さん、黒澤麻衣（佐和高卒）さん、吉成星空（中央高卒）さん、渋谷優人（日立北高卒）さん

優勝チームの横田空良さんは「チームワークが良く、みんな良く走ったことが勝因」と嬉しそうに話していました。

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞朝日新聞（2025年4月9日）

1 笑顔＝1円 地域支援

名護の中学生らアプリ使い活動

●藤村幸平さん（水城高卒）

◇要約：沖縄の中学生が、AIを使って笑顔を検知し「一笑＝1円」で寄付するアプリ「スマイラル」を開発し、他の7校にも機材を貸し出し、10ヶ月で23万円分の笑顔を集めた。

寄付金は賛同する企業の支援金を元に市内の子供食堂に寄付した。

◇感想：中学生がIT開発に取り組み企業から賛同を得て7校に波及するほどの活動に繋がったことに驚いた。

笑顔を1円で換算するという発想力と、そのお金を地域支援につなげる社会貢献の姿勢にも尊敬の気持ちです。

●山中咲季さん（多賀高卒）

◇感想：笑顔を検知して寄付するという、AIの活用方法にとっても驚いた。

笑顔が増加するにつれ寄付金も増え幸せになるアプリを中学生が開発したことがとても凄いなと思った。自分もこういうAIを活用できるエンジニアになりたい。

●水津知大さん（常磐大高卒）

◇感想：この記事を読んで、間接的にも笑顔を支援に繋がれること、改めてプログラムの正しい使い方を知りました。今後、自分はこのように地域に貢献できる新たなプロジェクトを作っていきたいと思った。



●岩瀬諒也さん（水戸工高卒）

◇感想：「1笑顔＝1円」という奇抜な発想を思いつき、それを実際の機能として落とし込み、社会貢献に役立てている。

創造→実装への行動力は、エンジニアを問わず様々な分野において重要視されるものだ。これからのIT社会に生きる者として、見習いたいと思った。

●相田泰我さん（水戸商高卒）

◇感想：「1笑顔＝1円」で寄付できるアプリを作成し、子ども食堂を助けることができる。自分も将来アプリを作り人々を助けるなど、社会に貢献できるような人材になれるようIT短大で学んでいきたいと思う。

